

かえでゆうびん 10月号



2023年10月1日 社会福祉法人 清松学園 幼保連携型認定こども園 か え で 保 育 園 園 長 引地 美津代

今年の「中秋の名月」と満月が重なり、きれいな月を眺めることができました。先月も暦のことに触れましたが、中秋の名月と満月が重なるのは7年後だそうです。

大人になると空を見上げることが少なくなるといわれますが、私は職業柄か、どこにいても雲の動きや空の色、そして風の香り等を感じながら生活しています。雲のかたちを「長~い竜みたい」「今のは象だね?」などとつ ぶやきながら楽しんでいます。

いつの間にか主人も「今日の雲は~みたい」 と話すようになっています。

雲の中の虹を見たときは思わず歩いている人 にも声をかけそうになったこともしばしば

です。皆さんもなかなか空を見上げることはなくなっているかと思いますが、大空を見上げてみると体も心もすっきりします。試してみてください。

9月30日(土)園での親子で遊ぼう」が今年やっと開催できました。 ダンディ・タイムからの提案で皆で楽しむことができました。 たくさんのお父さんの参加もあり、保護者の方々の会話も広がる良い時間 でした。このような保護者参加のイベントも今後も計画し、園の状況や 主としている保育も実際に見ていただきお伝えしていきたいと思っています。ダンディ・タイムにもご参加ください。







~保護者からのご意見~

- ・登降園の際、人が行きかうのに廊下が狭い。急いでいる時に困る ⇒幼児の荷物の置き場を変更し、会話するスペースを確保しました
- ・玄関のドアの開閉➡職員が確認し開閉しますので必ず閉めてください
- ・保育の内容・子どもの様子や心配事等の保育における説明が不十分
- ⇒コロナ禍以前に行っていたクラス懇談会・個人面談・体験保育を復活させ、保護者と園との関係性を深めていきます。

11月予定の「フェスティバル」を変更し、クラス懇談会・個人面談 (希望者)・保護者体験保育の詳細は後日お知らせいたします

おねがい

- ・衣替えする時期となりました。園で着用する衣服などの名前が記入できているか 再確認お願いします。
- 日中はまだ長袖、長ズボンは必要ありません。

おしらせ

• 9 月18日~敬老週間がありました。おじいちゃん、おばあちゃんと一緒におやつを食べたり、好きな遊びをしたりと一緒に過ごす時間を楽しんでいました。短い時間ではありましたが、園での様子を知って頂けたかと思います。子どもたちとたくさん遊んで頂きありがとうございました。

10月の予定

- 5日(木)5歳児児童交流大会 午前の部に参加
- ・14日(土) だいちぼうけんの日

(めばえ~ひかりぐみは家庭保育に協力お願いします)

- 19日(木) 子育て支援事業(人形劇・カウンセリング)
- 23日(月)月例健診
- 24日(火)消防設備点検・訓練
- ・25日(水)人形劇団クラルテによる人形
- 体操あそび (毎木曜日)
- 4日(水) 23日(月) 絵画あそび

11月の予定

- 28日(火) 移動動物園
- 11月13日~16日のかえでフェスティバルは中止とします。 保護者参加の行事は詳細が分かり次第お知らせします。

10月27日(金) 幼児クラスバス遠足 全園児お弁当日 ⇒11月14日(火) に変更します

2024年1月16日(火) ひかり・だいち 雪あそび ~ 六甲スノーパーク

先生のメッセージ

任事、家事、育児・・・毎日本当にお疲れ様です。私自身も5歳と2歳の男の子兄弟の母親奮闘中です。家に帰ってから心に余裕のあるときは、子どもの言葉に耳を傾けられますが、そんな風に関われないときももちろんありますよね。ついつい家では「早くしなさい!」と言ってしまうこともしばしば…。そして、子ども達が寝てから『言い過ぎたなあ…』とゆっくりと過ごし気持ちを切り替えますが、そのときに読む本が「脳はだっこで育つ。/作・山口創」「子どもが育つ魔法の言葉/作・ドロシー・ロー・ノルト」この2冊です。特に時間のない時に、何か心を落ち着かせる言葉を!と求めるときには2冊目がおすすめです。本に書いていること全てを実行しようと思うと大変なので、一部分だけを心に刻んで本を閉じます。そして、「自分も一日よく頑張った」と褒めるようにしています。何か新しいリフレッシュ方法を探している方はぜひ読んでみて下さいね。お父さんにオススメは『父親だからできること/作・毛利子来』です。またみなさんのおすすめの本があったら教えてくださいね。







今年の夏休みは初めての経験をたくさんした夏でした。まず 1 つは友人と海に浮かぶ 巨大アスレチックに行きました。

海に浮かんでいるのでバランスを取るのが難しく滑ったり、転んだりしながら様々な 遊具に挑戦しました。その中でも高いところに上っていき、そこから海にジャンプを してみよう!というスリルのある遊具がありました。

しかし挑戦しているのは体格のいい方ばかり、、、「怖いしやめておこうかな」と初めて 見た時は諦めていました。

でも「せっかく来たからには挑戦してみよう!」と友人を誘い、勇気をもって挑戦してみました。飛んでみると、怖かったけれどとっても楽しく気持ちがよかったです。 そして2つ目は北海道に行った際に初めて「ジンギスカン」を食べました。

今までずっと食わず嫌いで、「臭みがあるのかな」「本当においしいのかな」と疑っていたのですが食べてみるとびっくり!とってもおいしくもやしやタレと合わせてお腹いっぱいになるまで食べてしまいました。

初めてのことをする時は不安でドキドキするけれど、思い切って挑戦してみると良いことがたくさんあるなと思いました。普段の生活の中で、子どもたちが嫌いな食べ物を減らしたり残してしまう時に「一口でもたべてみよう!」「食べてみたらおいしいかもよ」と子どもたちにも声掛けをしていきたいと思います。 N先生



9月中旬から3年ぶりの敬者週間が始まりました。初めての方や久しぶりの参加を楽しみに来てくださる方、10月初旬まで多くの方が来てくださる予定です。私たちも久しぶりにお会いできる方との再会や初めての訪問をして下さる方との出会いがとてもうれしく思っています。お孫さんと一緒におやつを食べていただいたり、一緒に遊んで頂いたりと短い時間の中ですが保育園生活のひとときを過ごしいただいています。今回参加できなかった方、来年はぜひご参加ください。お待ちしています。

9月暑い日が続く中、体調不良のお子様が続きました。特定の感染症のお子様は少なく、夏の疲れが続いているのかと思うような症状でした。コロナ禍は出かけても感染対策がとられていましたが最近では通常生活に戻りつつあります。これからの時期は、朝夕の気温差もでてきます。園生活でも体調管理をしていく中で子どもたちと手洗いの大切さや咳エチケットなど健康に過ごすための方法を伝えていきたいと思います。

主幹保育教諭 F

かえで保育園の園庭は年を重ねるごとに緑が生い茂り、2階のテラスから見下ろすとまるで 小さな森のようですが、中でも草花が咲いているめばえ組の前は、子どもたちにとって隠れ家の ようなのんびりできる場所の一つです。

「りりりり…りりりり…」虫の声が草むらの中から聞こえます。「あれ?何か聞こえるような…」 耳を傾けてみると、近くにいた子どもたちも「どこどこ」と耳を澄まし、みんなで音の正体を 探すことに夢中になっていきました。その後、草むらを探っているうちに声の主はピュンッと 飛んで行ってしまったのですが、道具を使わずに感覚を働かせながらあそぶことも大切にして いきたいと思っています。

さて、かえで保育園開園当初より行っていた幼児クラスの『バイキング』が9月より再開しま した。子ども自身が自らの味の好みに気付いたり、料理の名前を知ることや自分で選択し言葉で 伝えることにも繋がっています。

大皿に盛りつけたおかずを見たMくんが、「きれいなおさら…」 ぽつりと呟きました。 感染症対策として一人ひとり蓋付きのタッパーで配膳を行っていましたが、食材を盛り付ける 器の有難さを改めて感じた出来事でした。そして、"きれい"と感じるMくんの心も素敵ですね。 食材そのものだけでなく、あたたかさに包まれるような食事の空間を作っていきたいと思います。

主幹保育教諭 K

保護者からのエピソード

朝、送っていくと、必ず玄関まできて、 「早くお迎えきてね。ぎゅーして」という息子。 ちょっと甘えん坊すぎる?と心配になったりも するのですが、「こういう時は、こうしなきゃだめ なんだよ」と大人びたことを言ったり、玩具の 片づけ最後までしてくれてましたよ。と先生から 話を聞き、この子なりに成長していってくれてるん だな…としみじみしました。

ひかり組 みのりさん

いつも帰って来るとおやつの話や 友だちと遊んだ話等を楽しそうに 教えてくれます。

だいち組 ゆうたさん

初夏の頃、私の実家に帰省していた時に、その地方で最大震度6強の 地震が起こりました。息子にとって初めて経験する大きな揺れでした。 揺れの後、息子は黙って大人の言う事に耳を傾け指示通りに行動して いました。

夜になり西宮にいる主人と電話で話した際に「パパ怖いよー。助けにきて!!」と大声で泣きだしました。私自身も動転しており、その時はじめて息子が我慢して、泣きもせず抱っこも求めず、大人の言う通りに行動してくれていたことに気付きました。

「いつも先生と練習してる。しゃべったらダメやねん」と園での避難 訓練について話してくれました。日々定期的に訓練をして頂いている ことに心から感謝しています。

いぶき組 さなえさん

毎日ケンカばかりしている2人ですが、 園の様子を先生に聞くたび、家とはまた違う 2人の様子が聞け、びっくりしています。

めばえ・つぼみ組 まいさん

今日は~食べたよ!や、お友だちと積み木であそんだよ!と お家で教えてくれるようになりました。

ごきげんで歌を歌ったりしていると、今日、園でみんなと 楽しく歌ったんだろうなと微笑ましい気持ちになりました。

いぶき組 ちはるさん

だいちさんになり、園外保育が増え、色々な ところに連れて行ってもらってますが、毎回 とても楽しんで帰って来ます。

そして、弟にも見せたいから次のお休みの日 にまた行きたい!と言って嬉しそうです。

つぼみ・だいち組 あやかさん

歌をうたうのが大好きでよく歌いながら 踊っています。

ベイビーシャークがお気に入り。

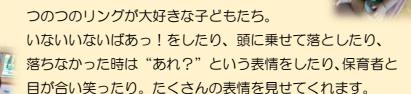
ふたば組 しのぶさん

9月の子どもたちのようす



最初は不思議そうにじっと見つめていましたが保育者が 触っている姿を見て水遊びのように叩いてみたり掴んで みたりしながら楽しんでいました。手に白い粉が付いた ことに気づき、保育者に手を見せてくれる姿も見られました。





生活の中で少しずつ自分でできることが増えてきました。自分でコップを持って飲むことやエプロンから頭を出すことができるようになっています。両手を合わせて「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶も習慣づいてきています。





先月からお部屋に赤ちゃんの人形を出しました。 子どもたちは毎日お父さんやお母さんになりきってお世話 遊びを楽しんでいます。布団をかけて寝かしつけたり ご飯を食べさせてあげたりしながら人形を可愛がって います。又、抱っこひもを用意すると落とさないように 大事に大事に抱っこしてあげています。



園庭では下駄遊びで盛り上がっています。つぼみ組や幼児さんが 下駄を履いて歩いている姿に憧れ、自分でもやってみたいという 気持ちが芽生えたようです。保育者と手を繋いで歩いてみたり 自分で履いてみたりして毎日挑戦をしています。

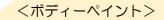












初めはドキドキしながら手や足に絵の具を付けて、紙に 足形や手形が付くことを楽しんでいました。段々絵の具の 感触に慣れてきて、友だち同士で絵の具をつけたり、保育者の 足や腕につけたり、保育者も一緒に楽しみました。絵の具が 手や足につくのが少し苦手な子どもも、筆やスポンジを 使って遊ぶことができました。





かくれんぼのルールを少しずつ覚え、「かくれんぼしよう」と 誘い合い遊ぶようになりました。保育者や友だちと一緒に 目を隠して数を数え、「もーいいかい」「まぁーだだよー」 「みーつけた」のやりとりをしながら、楽しんでいます。 まだまだ子どもたちなりのルールになってしまいますが、 ルールのある遊びが少しずつできるようになり、子ども同士の 世界が広がりつつあります。



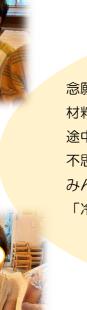








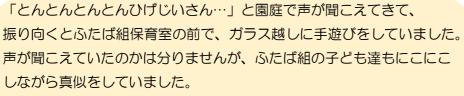
固くなってきた



意願のアイスクリームを作りました。 材料を袋に入れた後は、ひたすら振ります。 途中触ってみると、少しずつ固まっていることに気付き、牛乳が固まった 不思議とアイスが出来てきた喜びを感じ、何度も振り続けました。 みんなで協力し、無事アイスクリームができました。一口頬張ると 「冷たくておいしい」と嬉しそうな子ども達でした。 クラスで歌を歌う時、誰かが「手繋ごう」と言うと、自然とみんなで手を 繋ぐようになりました。

"1人で遊ぶ楽しさ"から"友だちと一緒に楽しむ"ことを知り、友だちとの輪が広がっています。





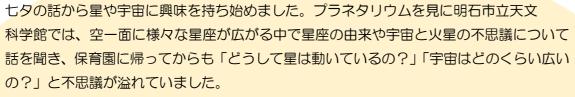
年下の友だちと関わる心地よさを感じ、部屋にお世話に行ったり、園庭で 声を掛けたり積極的に関わる姿がほほえましいです。



園庭の土を掘って、川づくりやダム作りが盛り上がっています。他のクラスの友だちが じゃぶじゃぶ池の方で遊んでいた水が流れて排水溝に流れている様子を見て「こっちに 流れたらあかん!」と土手を作って水が流れないように工夫していました。 最初は2人でしていたのですが気付けば複数人に。

「こっちはぼくやるから、〇〇くんはそっちね」などと役割りを分担しながら楽しむ 夏あそびでした。まだまだ暑い日は、「水あそび」での水路づくりを楽しんでいます。





夜の空を思い浮かべながら 1 人ひとり実際にある星座や自分で作ったオリジナルの星座を表現する子。「すい、きん、ち、か、もく、どってん、かい、めい」とリズムに合わせて呪文のように唱える子。いろんな方法で子ども達の星への興味が深まってきています。今は、星や宇宙の不思議をプラネタリウムの館長さんに聞いてみようと手紙を送りました。「返事が届くといいな」と手紙や描いた絵に思いを載せて書きました。









6月に幼虫から育てていたカブトムシも『カブトムシ隊』のお世話でサナギから大きく成長し角がピカピカ、羽もしっかり生えた成虫が育ちました。毎日観察をしているとカブトムシの変化にも気付くようになり「卵が産まれるのには…」と図鑑や絵本で調べ始めました。

ー緒のお家に住むと卵ができるかもと知りました。カブトムシの結婚式だと意気込んでいましたが、同時に卵を産んだら死んでしまうかもしれないことにも気付きました。「死んじゃうのは嫌だな…」「でも卵ができるかもしれないよ」と子ども達なりに少し命と向き合う時間になりました。卵を産んでもらい赤ちゃんが大きくなるようにしたい気持ちで一緒に住んでもらうことになりました。

命をそれぞれがどのように感じるか、思いは様々ですがみんなの気持ちに残っていればと思い 『まあるいいのち』を歌い始めました。説明をしたり理解したりするには大人でも難しいことが ありますが、実際に見て、体験して感じたみんなの気持ちを忘れないでいてほしいです。





積み木を組み立ててビー玉遊びを楽しんでいます。初めは積み木を縦に積みあげて ビー玉を落とす簡単な遊びでしたが、子ども達で案を出し合いながら少しずつ複雑な ビー玉転がしができるようになってきています。ビー玉も人数分あるわけではない ので、子ども達で話し合いながら順番に使います。だいちぐみのお兄さんが「長い針が 3になったら交代ね」と言うと、時計を見上げるいぶき組のお友達。理解したのか どうか分かりませんが納得した様子で順番が来るのをじっと待ちます。遊びを通して 色んな学びがあることを感じる瞬間です







お台所から



毎朝、同じ時間に厨房へ「きょうのごはんなに~」と大きな声で叫びながら厨房のドアの前から声をかけてくれる子どもがいます。その姿を見て、他の子も一緒にやってきてくれることも度々あります。素敵な笑顔を毎日向けてくれて、興味津々にメニューの説明を聞いてくれます。デザートがゼリーなのか果物なのかまでの細かい質問をしてくれたり、家での朝ごはんの話もしてくれたりします。ほんの少しの時間ですが、元気をもらい「今日も一日頑張ろう」と思える瞬間です。



9月1日

毎年、園のことを見守ってくれる方から、丹精込めて作られた季節の野菜や果物が届きます。 今年は大きなすいかを 3 玉もいただきおやつの時間に食べました。まだ完全に熟していない すいかが 1 玉あり、なかなか見ることのない色だったので幼児さんに見てもらうことにしま した。パカッと割ると、「あれ~いつものと色がちがう!」「ちょっと薄いね~」と鋭い発見を している子もいました。これから旬の野菜で登場するかぼちゃやさつまいもなどを始め、 今後も様々な野菜等に触れる機会を作っていきたいと思います。

9月9日

毎年園で育てているマスカットを、今月はデザートやおやつにたくさん登場しました。のど詰め防止のため半分に切ってから出しています。また、ある子がおやつでマスカットを食べた後に「ねえせんせい?あと何回寝たら次マスカット食べられるの?はやく食べたいなぁ。」とお話ししてくれたことがあります。おやつにマスカットが登場するたびにその子はいつも嬉しそうにしてくれています。また、今月から幼児さんはバイキング形式の昼食を始めました。慣れてくると「減らしてください」や「たくさん食べられるから大盛で!」と伝えてくれる子どもが多くいます。



10月のあそびへの思い

めばえ

少しずつ暑さも和らいできて、日陰のテラスで過ごす時間から園庭で過ごす時間が少しずつ長くなってきました。たくさん身体を動かす事ができるようになってきためばえさん。室内、園庭どちらの階段も自分の思うように登ることが出来るようなりました。最近では、「すべり台を滑りたい」という気持ちが出てきており階段を登りきると一目散にすべり台に向かっています。10月は身体をたくさん動かして遊ぶ事が出来るように午前中に園庭、室内問わず積極的に身体を使って遊びたいと思います。階段を登れば大好きなお兄さん、お姉さんが待っています。楽しみにしながら関わりを深めています。2階に行く経験をたくさんして少しでも異年齢での関わりも増やす事ができればと思います。

ふたば

朝晩は少し肌寒く感じるようになりましたね。先月の園庭遊びでは水遊びに加え、シャボン玉をたくさん楽しみました。シャボン玉遊びを通して同じクラスの友達だけでなく、異年齢での関わりを楽しむ姿もたくさん見られました。

ふたば組になって半年が<mark>経とうとし</mark>ており、子ども同士の関わりも深まってきています。最近は「なべなべそこぬけ」のわらべ歌を友達と手を繋いで一緒に楽しむ姿が見られます。

今月は「まつぼっくり」や「どんぐりころころ」等の秋ならではの歌を取り入れていき、気温が涼しくなり次第秋の自然物を見つけに散歩にも出掛けたいと計画しています。

残りの半年も子ども達とたくさんの楽しい思い出を作っていきたいです。

つぼみ

早いもので、つぼみ組になってから半年が過ぎました。様々な人と関わっていく経験を通して、成長してきた子どもたち。「じぶんで」と言って、身の回りのことを一人でしようとする姿がでてきました。その半面、うまくいかずに「できない」と助けを求めることもあります。そんな時は、やり方を伝えたり、励ましたり、さりげなく手伝いをしながら、「できた」喜びを子どもと一緒に感じています。自分でやってみようとする気持ちや意欲を大切にしながら、子どもが自分でできた時の満足感を味わい、次への意欲へと繋がるように保育を進めていきたいと思います。忙しい時は、ついつい大人がしてしまうこともあるかと思いますが、子どもたちの中に芽生えた意欲を大切に育てていきたいですね。保育園とご家庭で、一緒に子どもの「じぶんで」の気持ちを受け止めて。見守っていけたらと思います。

いぶき

夕方には少しずつ涼しい風が吹き、秋が近づき始めました。いぶき組になった初めの頃は、やりたい気持ちを伝えること、友だちを遊びに誘うことにドキドキしていた子どもたちが、今では自分から進んでやってみたい気持ちを伝え、「これー緒にしよう」と友だちに誘い掛け数人で遊ぶことを楽しんでいます。また、困った時は友だちと一緒に悩み、必要な時は年上の友だちに声をかけ解決しようとする姿もあります。子ども同士のやり取りでは楽しいだけではなく、うまくいかないこともありますが、少しずつ互いの納得できるやり取りも増えてきており、今後の関係性がどのように変化して深まっていくのか今からとても楽しみです。

ひかり

かえで保育園のかえでカフェのお母さんを中心に作った「かえでのふるさと」を 今月から歌っています。「だいちさんの卒園式のときに歌のプレゼントをするよ」 と伝えると「卒園式??」「だいちさんが小学校に行くことだよね」「じゃあ、も うすぐ僕たちがだいち組になるんだ」とそれぞれの思いを口にしていました。子 どもたちの中で年長さんになる憧れを持ちながら、「だいち」を目指しています。 朝の集いやクラスでの集いでも、足とお尻を床に付けて、良い姿勢で話を聞いて いた"根っこチャンピオン"を発表することが、子どもたちの中で楽しみになっ ているようです。「今日のチャンピオンは誰?」と目を輝かせながら聞いてくる姿 に成長を感じます。話を聞く力がどんどん育ってきてくれていますので、長めの 物語や子ども同士で話し合う機会も作っていきたいと思います。

だいち

泡づくりや水路づくりの夏の遊びも継続して楽しみつつ、自分のやってみたいことに、じっくり遊び込む姿がよく見られた 1ヶ月でした。星座への興味や夏祭りごっこなどは一人ひとりの興味がクラス全体に広がり、広がった『たのしい』がまた一人ひとりの気づきに繋がって遊びが続いています。10月には"だいぼうけんの日"が待っています。どんなことをしたいか、やってみたいことがたくさんあり、考えるだけで楽しさが膨らみ話し合いが進んでいます。だいぼうけんの日に向けて取り組んでいる話し合いの過程も大切に、子どもたちの関わりがより広がり深まるような機会となってほしいです。友達と一緒にやってみたいことを思う存分取り組み、自分の思いや考えを周りの人に伝える楽しさを感じてほしいです。





はまかぜ

だいちぐみが中心となって夏祭り遊びを楽しみました。はまかぜに分かれて盆踊りから始まり、かき氷屋さん、わたがし屋さん、焼きとうもろこし屋さん、くじ引きや輪投げ、ボーリング。そして人形劇も開催されました。参加する人は葉っぱのお金が必要です。ひかりぐみといぶきぐみの子ども達はペアになって葉っぱを握りしめ、順番を待ちます。浴衣やはっぴを来て参加する子もいて、お祭りは大盛況でした。お祭りはすべて子ども主導で行われます。ケンカしたり戸惑ったりする場面もありますが、子ども達主体となって自ら考え行動するする姿が逞しくて頼もしい時間でした。

長い夏は終わりを迎えましたが、夏祭り遊びの経験が製作遊び、音楽遊び に繋がり、また子どもたちの遊びが広がっていく事が楽しみです。



